

# 草刈機による事故にご注意！！

夏場は、自治会・市民活動等で草刈機（動力で高速回転する刃により草を刈り払う機器）を使って除草作業を行う機会が多くなります。

消費者庁によると、草刈機を使用中に指を切断、骨折したなどの事故情報が多数寄せられていて、被害に遭われた方の約半数は60歳以上だったとのことです。

草刈機には鋭利な刈刃がついており、使用中は高速で回転するため、慎重に取り扱わないと指や脚などの骨折や切断などといった取り返しのつかない重篤なケガにつながる危険性があります。



自治会・市民活動など善意で行っている作業ですが、誰かがケガをしたり他人の物を壊したりすると、後味が悪いだけでなく、周囲の人も対応に悩まされます。

全員が気持ちよく、安全に活動を行うため作業前にチェックポイント（裏面）を確認し、注意することが重要です。

## 事例 1



草刈り中、飛散した金属片が通行人に  
当たり負傷

## 事例 2



草刈り中、飛散した小石が近くに駐車  
していた車の窓ガラスを破損



草刈機使用上のチェックポイント



草刈機による作業は、次のチェックポイントを参考に、安全に留意して行いましょう！

**Check1**

ヘルメット・保護メガネ・手袋・安全靴等、保護具を装着しているか必ず確認しましょう。

**Check2**

草刈機に飛散防止カバーを確実に取り付けるとともに、事前に機器の点検を行ってから作業をしましょう。

**Check3**

作業をする前に小石や枝、硬い異物などを除去し、半径 15m以内に人がいないか確認して作業をしましょう。

**Check4**

障害物や地面などにぶつかって起きる刈刃の跳ね（キックバック）に注意しましょう。

**Check5**

刈刃に詰まった草や異物を取り除く際は、必ず機器を止めてから行いましょう。

**Check6**

作業者の周囲の方は、作業者が安全対策をきちんと行っているか一緒に確認し、作業中も作業者に変わったことがないかを常に意識するようにしましょう。

**Check7**

近くに人がいる場所や、自動車や家屋の近くで作業する場合は、十分な飛散防止対策（カバー等）を講じてください。また、草刈機で作業中の人には近づかないでください。

\*自動車や家屋の近く、異物が多い場所では、積極的にナイロンコードカッターを使用するようにしましょう。

確認者 氏名 \_\_\_\_\_

